



気候変動と暑さのこと

園長 多比良由恵

こどもの森のテラスには、子どもたちが植えたフウセンカズラやサツマイモが育っています。暑い中でも緑を身近にすると、爽やかさや心地よさを感じます。

先日、クライメート・インテグレート代表理事 平田仁子さんより『気候変動の今、これから』のお話を伺いました。次世代を生きる子どもたちに対して、どう責任ある行動をとることができるのかについて、家庭でのこと・園でのこと・社会のことなど、広い視野で考え取り組むことに、思いを巡らせています。



〈フウセンカズラ〉

今年の夏は、猛暑日の連続記録や日数が更新され、また局地的な豪雨などもありました。そのため、子どもも大人も、日中を外で過ごすことに負担を感じる日が多くありました。

東京都では、『ことしの夏も“沸とう京”熱中症から命を守る行動を』として、『水分補給・エアコン利用・日傘、帽子の活用』を呼び掛けています。

子どもは、①汗腺などの体温調節機能が未発達

②身長が低く、地面に近い分、照り返しの影響を受けやすい

③自分の体調をうまく言葉にすることができない（日本スポーツ振興センター資料より）

などのことから、大人よりも熱中症になりやすい傾向があります。

9月になっても、まだまだ暑さが続く予報がでています。園でもご家庭でも十分に気を付けて過ごしていきましょう。

2学期も、全教職員で力を合わせて教育活動に取り組んで参ります。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。



〈サツマイモ〉



〈カブトムシ〉